



学校の薫りを想う

校長 藤森 克彦

新年度の始まりを見守るように、校舎前の桜も満開となりました。134名の新入生を迎え、全児童数803名で令和2年度がスタートいたしました。新型コロナウイルスの感染拡大が止まりそうにありませんが、子どもたちが感染することなく、みんなそろって元気で進級できたことは何よりもうれしく思います。ただ、いまだ感染が拡大する中で子どもたちのリスクをより低減させるため、品川区教育委員会の判断のもと明日から5月6日まで臨時休業といたします。この時期は年度替わりで再出発する大切なときです。学年・学級によっては担任も替わりました。お子さんのことについては前任者と引継ぎをしていますが、お気づきの点がございましたらご相談くださるようお願いいたします。

また、子どもたちは3月から数えると2ヶ月以上家庭で過ごすことになり、学習をはじめ体力や精神的な面も心配しています。学校でご案内の通り、感染防止の策を取りながら校庭開放や学校図書館の図書の貸し出しをはじめ、今回は学年ごとに週一回の登校日を設けたり家庭訪問をしたりしながら、できるだけ子どもたちの様子を把握し見守ってまいりたいと思います。特に、新1年生は一日も早く学校や担任に慣れ5月からスムーズに再開できることを願い、登校日のほかに学校にて三者面談を行います。入学早々の休校でご心配なことも多々あるかと思いますが、できる限りご家庭と学校の連携を図ってまいりたいと思います。

さて話は変わりますが、報道などを見ていると、新型コロナウイルス感染症の広がりとともに学校の存在的価値や教育の在り方が問われているように思います。今は健康安全第一で仕方ないですが、そんなことは当たり前だと言われそうですが、学校はみんなが同じ釜の飯を食べて、一緒に笑って、一緒に叱られたり悩んだり喜んだり励まし合ったりして、この学び舎で集い合いながら子どもたちが育っていくところです。

久しぶりに衣服等をたんすから取り出すと、たんすの匂いが服に染み付いているように、微量の薫りでもいつの間にかそのものに薫りが移っていることがあります。「薫り」と「習う」という字を組み合わせると「薫習（くんじゅう）」という言葉があります。長い時間をかけて習慣として常に働きかけることによって、影響を与えていくという意味だそうです。

すぐに結果は出ないかもしれませんが、子どもたちを取り巻く環境は学校によって違います。そして、脈々を受け継がれてきた教えや校風・伝統、保護者の方の思いや地域でご支援をいただいています。そうした状況は学校によって様々であり、それぞれ学校によって特有の「薫り」があります。子どもたちは6年間を通してその薫りに浸り、その薫りが好きになってほしい。そして、大きくなってその薫りを再び感じるために母校に集ってほしい。こういう社会だからこそ、自分の学校に思いを寄せ誇りに思うことを大切にしたいです。

大井第一小は「何かとてもなつかしい、いい薫りがしますね」と評価をいただける学校づくりをさらに進めていきたいと思っています。

なお、例年行っております連合体育大会や音楽鑑賞教室など区の行事は、今年度は中止となりました。5・6年生の日光の宿泊学習については区で検討中ですが、内容や日程の変更、中止も含めその決定を待っているところです。また本校の1学期の行事ですが、校外学習（遠足や社会科・生活科見学など）や運動会につきましては2学期以降に延期してまいります。ただ、これからの感染の状況によって行事の予定や内容が刻々と変更することも考えられます。5月の再開後に保護者会を予定しておりますので、詳しくはまたお知らせいたします。

この後、臨時休業中のご家庭へのご連絡は主に保護者メール配信といたします。新1年生の保護者の皆様には、まだ配信メールのシステム整備ができておりませんので、登校日に配布するお知らせや学校ホームページの掲載内容をご覧くださいませようお願いします。

学校としてもこのような臨時休業の対応は初めてで不手際もあろうかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

本頁では、毎月「今月の行事予定」をお届けしておりましたが、4月7日（火）～5月6日（水）まで臨時休業のため本号は掲載いたしません。なお、変更や今後の予定等につきましては、本校ホームページおよび配信メール（2～6学年）等にてお知らせいたします。